



松崎中だより

第13号（平成29年10月19日発行）伊丹市立松崎中学校長 升井竜雄

今年度、松崎中学校から「伊丹市人権週間」記念作文に3名、ポスターに3名が入賞しました。その入賞者の1人、1年生の高田遥稀さんが10月31日アイフォニックホールで開催される「差別を許さない都市宣言制定記念市民集会」において作文を朗読することになりました。今回はその作文を紹介いたします。

「私なりの『介護』」

1年5組 高田遥稀

昨年の秋、祖父は70歳で亡くなりました。昔から肺が悪く、数年前からは酸素ボンベが手放せない生活を送っていましたが、祖母や祖父自身の頑張りで、何とか自宅で生活をしていました。

私の家は祖父母の家から近く、小さい時から毎週のように遊びに行ったり、祖父がまだ元気な時は我が家に来てもらったりしていたので、私が成長するにつれ、祖父の体力がだんだんなくなって自分でできることが少なくなっていく姿を間近で見してきました。

『介護』という言葉の意味はもちろん知っていましたが、私が思っていたその言葉のイメージは『寝たきりの高齢者や障がい者の方への食事介助や身体介助をすること』や『介護の専門家や同居の家族がするもの』という形式的なものでした。しかし、祖父の最期の一ヶ月で、私の『介護』への考え方が大きく変わりました。

祖父は亡くなる一ヶ月前から肺の数値の悪化により、自宅での生活が困難になり入院しました。これまでも入退院を繰り返していたので、私は「今回も2、3週間の入院かな？」と軽く考えていましたが、祖父の様子からそうではないことが私にもすぐにわかりました。

祖母はフルタイムで働いているので、毎日早朝と夜に祖父の面会に行っていました。私の母は日中、小さい妹を連れて、毎日のように祖父の面会に行っていました。私も学校帰りや休日には、なるべく時間を作って祖父に会いに行くようにしました。

もちろん、病院なので、家族がいない時は看護師の方々が手際よく様々な介助をしてくれるのですが、祖父は明らかに、祖母や母や私達孫からおぼつかない手順で介助されている時の方が嬉しそうなお顔をしていました。私もそんな祖父の嬉しそうなお顔を見るのが嬉しくて、試行錯誤を重ね、祖父の乾いた唇を湿らせてからリップを塗ってあげる“達人”になっていました。

祖父は昔から温厚で、誰に対しても、どんな些細なことに対しても、「ありがとう」というのが口癖でした。看護師や医師はもちろん、私達孫にまでも、いつも感謝の言葉をかけてくれる人でした。「ありがとう」と言われると、心がじわっとあたたかくなり、「もっと何かしてあげたいな」と思いました。

私が面会に行く度に、祖父の腕や足までもが私の腕より細く白くなり、呼吸が苦しそうな姿が増え、日々衰えていく祖父の姿に心がとても苦しくなりました。私は「私にできることは何？」と心に問い続ける日々でした。

祖父が少しでも元気になるようにと、祖母や母や私達孫で病室にハロウィンの飾り付けをしたり、家族の写真をたくさん飾ったり、学校であったことを話すようにしました。隣のベッドのおじいさんの点滴ホルダーにも飾りを付けてあげると、とても喜んでいました。

祖父の亡くなる十日前に、私の習っている武道競技の試合がありました。「絶対に優勝して祖父の首に金メダルをかけてあげるんだ！」という気持ちで試合に挑み、見事、それを叶えることができました。ガリガリにやせ細った祖父にずっしりと重い金メダルをかけるのは、祖父自身、体力的に辛かったと思いますが、満面の笑みでピースをして一緒に写真を撮ってくれました。何度も「おめでとう！」「よくやった！」と言ってくれた言葉が今でも耳に残っています。

祝日だったあの日、私達家族は午前中も夕方も祖父の面会に行きました。祖父はいつもより元気に見えました。ずっと食欲のなかった祖父が「ステーキが食べたいな。」とまで言っていました。「明後日、お休みだから、ステーキ焼いて持ってくるね！」と話したのが最期になりました。

祖父が亡くなった後、担当だった看護師さんから「本当に素敵なお家族さんですね。みんなで連携してそれぞれが立派に『介護』されていましたよね。」と言われました。祖父は私達家族のことを「自慢の家族です！」と、その看護師さんに話していたそうです。それを聞いて、ハッとしました。『介護』って特別な技術がなくてもできるんだ、と。

祖父の最期の一ヶ月と向き合った経験から、何の知識や技術のない私にでも、少しは祖父の支えになれて、私なりの『介護』ができたんだな、と思いました。

【オープンスクール（土曜授業）】

10月21日（土） 1～3校時は公開授業、12:00～12:30は学級懇談会を実施します。保護者、地域の方々のご来校をお待ちしています。

【表彰】

◆人権週間入賞者

- 【作文】 1年 高田遥稀 「私なりの『介護』」
3年 阪上 陸 「生きること」
3年 大松睦輝 「曾祖母に教えてもらったこと」
- 【ポスター】 1年 垣内愛歩 2年 竹本真衣、川俣綾音

◆兵庫県中学校総合文化祭

- 【書写】特選 3年 杉山真理 入選 2年 倉知春乃・3年 河野真菜

◆【俳句】鬼貫賞 入賞 竹縄ゆずか

- ◆【英語スピーチ】高円宮杯第69回 中学校英語弁論大会 兵庫県大会
入賞 3年 松本聖、吉永萌々花

- ・野球部 伊丹市新人大会 優勝
 - ・女子バレー部 伊丹市新人大会 優勝
 - ・男子バレー部 伊丹市新人大会 準優勝
 - ・ソフトボール部 伊丹市新人大会 準優勝
 - ・男子卓球部 伊丹市新人大会 団体優勝（個人の部）準優勝 杉本啓
 - ・女子卓球部 伊丹市新人大会 準優勝（個人の部）第3位 藤田明希
 - ・バドミントン部 伊丹市新人大会（女子ダブルス）第3位 三木谷樹里、福田真咲
（女子シングル）第3位 辻本彩良
- 市民スポーツ祭（1年女子A） 第3位 辻本、中道、吉川

・男子水泳部

- | | | | |
|------------|---------------|------------|---------------|
| 伊丹市新人大会 | 男子総合 優勝 | 市民スポーツ祭 | 男子 総合 準優勝 |
| フリーレー | 1位 林、川上、下川、藤本 | フリーレー | 2位 林、藤本、下川、朝山 |
| メドレーレー | 2位 林、川上、下川、朝山 | メドレーレー | 2位 林、岡崎、川上、西田 |
| 100m平泳ぎ | 1位 下川颯斗 | 200m個人メドレー | 1位 西田優人 |
| 100m背泳ぎ | 1位 林慧 | 100mバタフライ | 1位 川上総一郎 |
| 50m自由形 | 1位 林慧 | 100m平泳ぎ | 2位 朝山晃誠 |
| 200m平泳ぎ | 1位 北田偉大 | 100m背泳ぎ | 2位 渡壁司 |
| 200m背泳ぎ | 1位 渡壁司 | 400m自由形 | 1位 岡崎亮太 |
| 200mバタフライ | 2位 川上総一郎 | | |
| 100mバタフライ | 2位 川上総一郎 | | |
| 200m個人メドレー | 2位 下川颯斗 | | |
| 100m平泳ぎ | 2位 朝山晃誠 | | |
| 200m平泳ぎ | 2位 岡本一真 | | |

・女子水泳部

- | | | | |
|---------|----------------|---------|----------------|
| 伊丹市新人大会 | 女子総合 準優勝 | 市民スポーツ祭 | 女子総合 優勝 |
| フリーレー | 2位 野口、宇野、岡崎、中村 | フリーレー | 1位 岡崎、中村、宇野、野口 |
| メドレーレー | 2位 野口、貫、岡崎、中村 | メドレーレー | 1位 中村、岡崎、野口、貫 |
| 400m自由形 | 1位 野口花音 | 100m自由形 | 1位 宇野綾華 |
| 200m自由形 | 2位 野口花音 | 400m自由形 | 1位 野口花音 |
| 50m自由形 | 2位 岡崎明希 | | |
| 100m自由形 | 2位 岡崎明希 | | |

